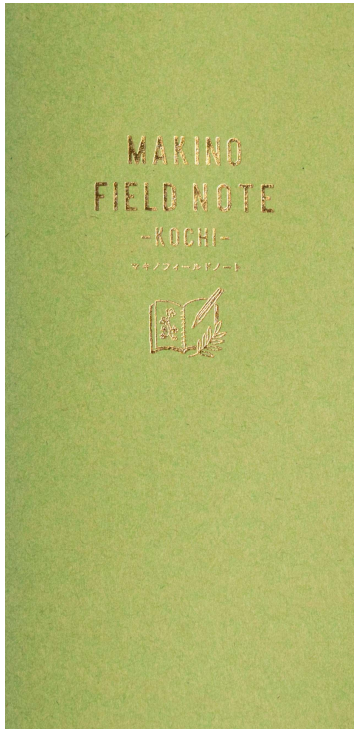


## マキノフィールドノートについて

このフィールドノートでは、高知県出身の植物分類学者 牧野富太郎博士ゆかりの地や県内でおすすめの草花スポットを紹介しています。

このノートを片手に県内各地を巡っていただき、新たな発見やお気に入りを書き込んで完成する手帳スタイルのノートです。中面は、若年層や女性層目線での見どころコメントを加えた内容で、こうしたターゲットに合わせたデザイン構成としています。

規格：タテ210mm×ヨコ200mm、フルカラー、36ページ（表紙含む）  
発行部数：1万部



（表紙）



（使い方一例）

## フィールドノートの使い方

### (1) 旅の予習として

● 何を見よう？どんなグルメがあるの？など、ガイドブックとして旅の計画づくりに役立ててください。

### (2) 自由に書き込めるノートとして

● 旅先で巡ったルートや発見したもの、そのときの気持ちなどを自由に書き込んでください。チケットや思い出の写真を貼って、写真日記として楽しんだりするのもおすすめです。

### (3) 植物観察のツールとして

● 定規の目盛りを付けています。植物の観察やスケッチなどに活用してください。



<問い合わせ先>

連続テレビ小説を生かした博覧会推進協議会（高知県観光政策課内）

高知市丸ノ内1-2-20 高知県庁本庁舎5F TEL:088-823-9143 担当：濱田、飯田